

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	50	05	公用車安全対策事業			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671600		総務課		亀ヶ谷	64113	

事業の概要									
事業の概要		公用車運転業務を安全に遂行するため、高津区役所で所有する公用車4台(区長車を含む)の車両についてスタッドレスタイヤを導入する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	区の新たな課題即応事業費				
		平成28年度	平成28年度						
地域の課題と現状		例年、首都圏では12月から2月にかけて積雪に見舞われることが複数回あり、公共交通機関では大幅な遅延が発生し、道路ではノーマルタイヤによるスリップ事故などが多発する。現在、公用車にはノーマルタイヤが装着されており、冬季・降雪時の安全な運転業務に支障がでる懸念がある。							
予決算 (単位:千円)		年度		H27年度		H28年度		H29年度	
				予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費				353	253		
		財源内訳	国庫支出金						
			市債						
その他特財									
一般財源				353	253				

計画 (Plan)	
事業の目的	職員送迎はじめ避難所運営の支援などの公務を、降雪時にも安全に遂行することを目的とする。
今年度の事業の取組内容	スタッドレスタイヤへの移行業務を行う。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	総務課所管の公用車4台に、スタッドレスタイヤ計16本を導入した。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標	スタッドレスタイヤの導入		目標	16		本
					実績	16		
	2				目標			
					実績			
3				目標				
				実績				
4				目標				
				実績				

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	安全な公務遂行、安定した区民サービス提供は、常に自治体に求められるもので、特に避難所運営支援など災害にかかる業務については区民の関心も高く、天候を問わず対応できる運転業務体制を整える必要がある。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	安全な公務遂行、安定した区民サービス提供が自治体に求められる状況は変わらない。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	スタッドレスタイヤを装着することで、冬季でも安全に公用車を運行することが出来た。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	今年度で本事業は終了しますが、今後スタッドレスタイヤを他公用車にも拡充する場合は、その導入台数や仕様について検討の余地がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
安全な公務遂行の観点から、悪天候時は事務職員による運転は避けることを前提に、運転手が対応する公用車4台(総務課所管)へのスタッドレスタイヤ導入をもって、本事業を終了する。		

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	50	05	久地円筒分水広場桜緊急安全対策事業			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		企画課		高橋	64123	

<b>事業の概要</b>									
事業の概要		二ヶ領用水久地円筒分水広場内の最も空洞化が進んでいる桜1本について、緊急に抜本的な安全対策を実施する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区の新たな課題即応事業費			
		平成28年度	平成28年度						
地域の課題と現状		市初の国登録有形文化財である二ヶ領用水久地円筒分水及び桜を含む景観は地域の方に愛されているが、その桜については推定樹齢が60年を超え、昨今枝折れが頻発している状況であり、また、樹木の空洞率調査を実施したところ、最も空洞化していた桜において58%と非常に高い数値が示された。この課題に対して土壌改良や枝の剪定等の対応を実施してきたところではあるが、それだけではもはや十分でなく、大きな事故に繋がる懸念されている。							
予決算 (単位:千円)		年度		H27年度		H28年度		H29年度	
				予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費				2,387	2,387		
		財源内訳	国庫支出金						
			市債						
その他特財 一般財源				2,387	2,387				

<b>計画 (Plan)</b>	
事業の目的	二ヶ領用水久地円筒分水広場内の最も空洞化が進んでいる桜1本について、緊急に抜本的な安全対策を実施することで、施設の安全を確保する。
今年度の事業の取組内容	最も空洞化が進んでおり、かつ、ベンチに近接している桜1本を伐採及び抜根した上で、新たに桜1本を補植する。

<b>実施結果 (Do)</b>								
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	3月に桜の伐採、抜根及び補植を行った。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標	桜の伐採、抜根及び補植	目標		1		本
				実績		1		
	2			目標				
				実績				
3			目標					
			実績					
4			目標					
			実績					

<b>評価 (Check)</b>			
事業を取り巻く社会環境の変化	桜の推定樹齢が60年を超え、昨今枝折れが頻発している状況であることから、施設の安全確保が求められている。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	施設の安全確保は緊急の課題であり、また、日常の清掃を行って久地円筒分水サポートクラブからも抜本的な安全対策として桜の植替えを早期に実施するよう強く要望されていることから、事業のニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	桜の伐採、抜根及び補植を適切に施工したことで安全が確保されるとともに、その植樹イベントを毎年開催の円筒分水スプリングフェスタにおいて実施したことで地域の方に愛着を持ってもらえるなど、一定の成果があったと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	道路公園センターと協議を行いながら、経費削減について検討していく。	

<b>改善 (Action)</b>			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III	即応事業としては終了するが、残り2本の老朽化した桜については、引き続き枝の剪定等の安全対策を行いながら、全体としての桜のある景観も考慮した上で、久地円筒分水サポートクラブ、地元町内会、円筒分水スプリングフェスタ実行委員会及び道路公園センターとも協議しながら、今後の事業の実施時期や手法等を検討する。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	50	05	高津市民館障害者対応設備緊急補修工事			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671750		生涯学習支援課		船津	814-7603	

事業の概要									
事業の概要		障害者差別解消法の施行に伴い、来館した障害者や歩行困難者等に対して高津市民館内の設備面の充実を図り、必要な配慮ができるようにする。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区の新たな課題即応事業費			
		平成28年度	—						
地域の課題と現状		高津市民館は、駅から歩行者用デッキで直結している恵まれた立地から、コンサートや講座の開催時などに、視覚障害者や歩行困難者の来館がある。受付窓口までの動線においては、点字ブロックはなく、すべてインターホンでスタッフを呼び出した上での対応となる。既設のインターホンは通話のみでカメラはついていないため、音声に頼る以外、相手方の障害等の状況が目視で確認できないことから、障害者や歩行困難者等へ十分な配慮ができていない。							
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度		
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
		事業費	0	0	170	144			
財源内訳		国庫支出金							
		市債							
		その他特財							
		一般財源	0	0	170	144			

計画 (Plan)	
事業の目的	障害者差別解消法の施行に伴い、来館した障害者や歩行困難者等に対して設備面の充実を図り、必要な配慮ができるようにする。
今年度の事業の取組内容	既設インターホン設備のカメラ付きインターホンへの更新。

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	既設のインターホン3か所と親機について補修を行った。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	設備更新の箇所数	目標	0	4		箇所
			実績		4		
	2		目標				
			実績				
3		目標					
		実績					
4		目標					
		実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	障害者差別解消法の施行に伴い、障害者対応設備の充実と合理的配慮の必要性について社会的要請が高まっている。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	障害者差別解消法の施行に伴い、障害者対応設備の充実と合理的配慮の必要性について社会的要請が高まっている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	今後、将来にわたって来館者へのサービス向上が図られるため、一定の成果があったと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	見積を5社以上で行い、価格比較を徹底し、契約額を削減した。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III
		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
		区の新たな課題即応事業としては終了

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	50	05	高津区地域包括ケアシステム普及啓発事業			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675000		地域ケア推進担当		坂尾	64813	

## 事業の概要

事業の概要	広く区民等に対し、地域包括ケアシステム構築の必要性や住民自身に何が出来るかを考えてもらい、自助・互助の取組みを始めるきっかけとしてもらうため、広報用DVD300枚を製作する。							
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	区の新たな課題即応事業費				
	平成28年度	平成28年度						
地域の課題と現状	2025年に向けて地ケアの構築は待たないが、地域住民からは何をすればいいのかわからないという声寄せられている。地ケアの構築のためには自身の健康づくりや、住民同士のつながりづくりが必要であることを伝え、そのために何が出来るかを一人一人に考えてもらう必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費			556	540			
	財源内訳	国庫支出金						
		市債						
その他特財								
一般財源			556	540				

## 計画 (Plan)

事業の目的	地域包括ケアシステム構築のため、今年度から地域みまもり支援センターが設置され、多職種・多機関連携による個別支援の強化と自助・互助の働きかけによる地域力の向上の取組みを行っているが、広く住民に対し、地ケア構築の必要性や住民自身に何が出来るかを考えてもらい、自助・互助の取組みを始めるきっかけとすることを目的とする。
今年度の事業の取組内容	広く区民等に対し、地域包括ケアシステム構築の必要性や住民自身に何が出来るかを考えてもらい、自助・互助の取組みを始めるきっかけとなるような広報用DVD300枚の製作等業務。

## 実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>自助・互助の取組を広げていくことを目的に、地域包括ケアシステム講演会・報告会を3/13に実施し、そのなかで広報用映像を見てもらった。</li> <li>広報用DVD300枚を製作し、町内会・自治会等の研修会等での利用が見込まれる団体に配布した。</li> </ul>						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位	
	1 活動指標	地域包括ケアシステム講演会・報告会での広報用映像の視聴(参加者)	目標		200		人
			実績		119		
	2 成果指標	広報用DVDの製作	目標		300		枚
			実績		300		
3		目標					
4		目標					

## 評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年に向けて、地域包括ケアシステムの構築が急がれる。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年に向けて、地域包括ケアシステムの構築が急がれる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	地域包括ケアシステム講演会・報告会の参加者に見ていただくと共に、町内会・自治会等の研修会等での利用が見込まれる団体に配布することで、多くの人に自助・互助の取組を始めるきっかけを提供することが出来た。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	広報用DVD300枚を製作して、本事業は終了となる。	

## 改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III	
当初の予定通り、広報用DVD300枚を製作し、本事業は終了とする。今後の活用については、要検討とする。			